

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 和歌山県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	こころの医療センター	2
海南市	海南医療センター	3
橋本市	橋本市民病院	4
有田市	市立病院	5
新宮市	新宮市立医療センター	6
高野町	高野山病院	7
すさみ町	国保すさみ病院	8
那智勝浦町	温泉病院	9
串本町	くしもと町立病院	10
国民健康保険野上厚生病院組合	国保野上厚生総合病院	11
公立那賀病院経営事務組合	公立那賀病院	12
御坊市外五ヶ町病院経営事務組合	ひだか病院	13
公立紀南病院組合	紀南病院	14
公立紀南病院組合	紀南こころの医療センター	15

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名					
病院名		こころの医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,637㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	2	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	300	48.0	50.8	52.5
感染症	-	-	-	-
計	300	48.0	50.8	52.5
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

貸借対照表(千円)			
区分		決算額	
資産合計		3,364,443	
1 固定資産		3,033,692	
(1) 有形固定資産		3,033,557	
(2) 無形固定資産		135	
(3) 投資その他の資産		-	
2 流動資産		330,751	
(1) 現金及び預金		109,244	
(2) 未収金及び未収収益		206,842	
(3) 貸倒引当金()		9,440	
(4) 貯蔵品		24,050	
3 繰延資産		-	
負債合計		3,344,528	
1 固定負債		2,490,138	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		2,490,138	
(2) その他の企業債		-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-	
(4) その他の長期借入金		-	
(5) 引当金		-	
(6) リース債務		-	
2 流動負債		550,303	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		357,367	
(2) その他の企業債		-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-	
(4) その他の長期借入金		-	
(5) 引当金		88,700	
(6) リース債務		-	
(7) 一時借入金		-	
(8) 未払金及び未払費用		95,489	
(9) 前受金及び前受収益		-	
3 繰延収益		304,087	
(1) 長期前受金		901,439	
(2) 長期前受金収益化累計額()		597,352	
(3) 繰延運営権対価		-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-	
(5) 運営権者更新投資		-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-	
資本合計		19,915	
1 資本金		64,212	
2 剰余金		-44,297	
(1) 資本剰余金		2,500	
(2) 利益剰余金		-46,797	
負債・資本合計		3,364,443	
不良債務		-	
実質資金不足額		-	
資本不足額()		-	
資本不足額(繰延収益控除後)()		-	
備考			

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	712,471	733,570
資本勘定繰入	226,046	294,599
計	938,517	1,028,169

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,235,205			
1 経常収益	2,235,205			
(1) 医業収益	1,282,640			
(うち修正医業収益)	1,184,361			
入院収益	1,008,241			
外来収益	169,705			
診療収入計	1,177,946			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	104,694			
(うち他会計負担金)	98,279			
(2) 医業外収益	952,565			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	635,291			
(うち長期前受金戻入)	24,201			
(うち資本費繰入収益)	288,064			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,080,522			
2 経常費用	2,080,522			
(1) 医業費用	2,028,322			
職員給与費	1,397,347	108.9	58.7	104.5
材料費	93,284	7.3	26.9	9.7
(うち薬品費)	64,565	5.0	14.8	6.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,627	2.1	11.7	1.6
減価償却費	177,806	13.9	8.5	12.8
経費	356,310	27.8	21.5	34.3
(うち委託料)	230,620	18.0	11.5	15.4
研究研修費	2,847			
資産減耗費	728			
(2) 医業外費用	52,200			
(うち支払利息)	43,656	3.4	0.9	2.2
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	154,683		
	純損益	154,683		
累積欠損金	46,797			
経常収支比率	107.4		96.5	98.6
医業収支比率	63.2		86.0	61.2
修正医業収支比率	58.4		83.2	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	32.8		11.5	34.5
他会計繰入金対医業収益比率	57.2		13.7	57.7
他会計繰入金対総収益比率	32.8		11.5	33.3
実質収益対経常費用比率	72.2		85.4	64.6

備考:

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名		海南市			
病院名		海南医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,377㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	150	72.4	69.5	70.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	72.4	69.5	70.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	12.2	11.8

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		5,138,552		
1 固定資産		3,254,309		
(1) 有形固定資産		3,151,164		
(2) 無形固定資産		368		
(3) 投資その他の資産		102,777		
2 流動資産		1,884,243		
(1) 現金及び預金		1,224,562		
(2) 未収金及び未収収益		630,704		
(3) 貸倒引当金()		2,607		
(4) 貯蔵品		31,154		
3 繰延資産		-		
負債合計		3,669,416		
1 固定負債		2,281,291		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		1,660,359		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		166,670		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		454,262		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		594,369		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		246,339		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		16,666		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		143,577		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		175,498		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		793,756		
(1) 長期前受金		1,324,733		
(2) 長期前受金収益化累計額()		530,976		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		1,469,136		
1 資本金		4,790,182		
2 剰余金		-3,321,046		
(1) 資本剰余金		18,826		
(2) 利益剰余金		-3,339,872		
負債・資本合計		5,138,552		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	437,394	437,394
資本勘定繰入	122,539	122,539
計	559,933	559,933

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	94.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名		橋本市			
病院名		橋本市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,410㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨がへ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	300	68.6	73.5	78.8	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	300	68.6	73.5	78.8	
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	14.4	14.7	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				9,651,995	
1 固定資産				6,855,184	
(1) 有形固定資産				6,792,169	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				63,015	
2 流動資産				2,796,811	
(1) 現金及び預金				1,761,575	
(2) 未収金及び未収収益				992,007	
(3) 貸倒引当金()				1,002	
(4) 貯蔵品				44,206	
3 繰延資産				-	
負債合計				8,580,489	
1 固定負債				6,791,992	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				5,963,080	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				828,912	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				1,675,201	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				817,808	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				248,924	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				579,738	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				113,296	
(1) 長期前受金				2,229,833	
(2) 長期前受金収益化累計額()				2,116,537	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				1,071,506	
1 資本金				3,077,517	
2 剰余金				-2,006,011	
(1) 資本剰余金				637,033	
(2) 利益剰余金				-2,643,044	
負債・資本合計				9,651,995	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	781,717	418,638
資本勘定繰入	442,794	430,351
計	1,224,511	848,989

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名		有田市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	14,675㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救感災輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	153	53.6	47.5	56.0	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	4	-	158.5	-	
計	157	52.3	50.4	54.6	
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	17.5	20.9	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				2,369,270	
1 固定資産				2,084,762	
(1) 有形固定資産				2,062,671	
(2) 無形固定資産				302	
(3) 投資その他の資産				21,789	
2 流動資産				284,508	
(1) 現金及び預金				269,904	
(2) 未収金及び未収収益				11,306	
(3) 貸倒引当金()				10,149	
(4) 貯蔵品				13,325	
3 繰延資産				-	
負債合計				823,300	
1 固定負債				445,449	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				55,449	
(2) その他の企業債				390,000	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				232,855	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				64,642	
(2) その他の企業債				130,000	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				16,706	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				19,507	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				144,996	
(1) 長期前受金				364,637	
(2) 長期前受金収益化累計額()				219,641	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				1,545,970	
1 資本金				1,605,647	
2 剰余金				-59,677	
(1) 資本剰余金				-	
(2) 利益剰余金				-59,677	
負債・資本合計				2,369,270	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	339,145	499,347
資本勘定繰入	88,438	302,882
計	427,583	802,229

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.0
健全化法上の資金不足額(千円)	236,359
健全化法上の資金不足比率(%)	11.5
地財法上の資金不足額(千円)	273,705
地財法上の資金不足比率(%)	247.6

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	534,884				
1 経常収益	534,884				
(1) 医業収益	110,514				
(うち修正医業収益)	-				
入院収益	-				
外来収益	-				
診療収入計	-				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	110,514				
(うち他会計負担金)	110,514				
(2) 医業外収益	424,370				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	388,833				
(うち長期前受金戻入)	10,983				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	594,561				
2 経常費用	594,561				
(1) 医業費用	581,390				
職員給与費	-	-	58.7	67.7	
材料費	-	-	26.9	18.3	
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1	
減価償却費	144,568	130.8	8.5	10.3	
経費	436,822	395.3	21.5	29.4	
(うち委託料)	7,890	7.1	11.5	13.6	
研究研修費	-				
資産減耗費	-				
(2) 医業外費用	13,171				
(うち支払利息)	4,347	3.9	0.9	1.1	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	-59,677			
	純損益	-59,677			
累積欠損金	59,677				
経常収支比率	90.0		96.5	95.4	
医業収支比率	19.0		86.0	79.1	
修正医業収支比率	-		83.2	74.9	
他会計繰入金対経常収益比率	93.4		11.5	17.0	
他会計繰入金対医業収益比率	451.8		13.7	21.8	
他会計繰入金対総収益比率	93.4		11.5	17.1	
実質収益対経常費用比率	6.0		85.4	79.2	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名		新宮市			
病院名		新宮市立医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	21,878㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨感災地		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄					
ド…人間ドック透…人工透析I…ICU・CCU未…NICU・未熟児室訓…運動機能訓練室ガ…ガン(放射線)診療					
指定病院の状況欄					
救…救急告示病院臨…臨床研修病院が…がん診療連携拠点病院感…感染症指定医療機関へ…へき地医療拠点病院災…災害拠点病院					
地…地域医療支援病院特…特定機能病院輪…病院群輪番制病院					

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	281	63.7	61.3	61.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	13.4	17.1
計	285	62.8	60.6	60.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	15.0	14.6

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		10,898,687		
1 固定資産		7,852,468		
(1) 有形固定資産		7,832,648		
(2) 無形固定資産		620		
(3) 投資その他の資産		19,200		
2 流動資産		3,046,219		
(1) 現金及び預金		1,714,705		
(2) 未収金及び未収収益		1,267,499		
(3) 貸倒引当金()		6,309		
(4) 貯蔵品		55,122		
3 繰延資産		-		
負債合計		7,560,349		
1 固定負債		4,689,136		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		3,753,614		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		935,522		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		1,576,985		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		922,364		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		183,208		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		441,256		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		1,294,228		
(1) 長期前受金		6,530,362		
(2) 長期前受金収益化累計額()		5,236,134		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		3,338,338		
1 資本金		1,967,794		
2 剰余金		1,370,544		
(1) 資本剰余金		951,757		
(2) 利益剰余金		418,787		
負債・資本合計		10,898,687		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	900,763	351,776
資本勘定繰入	513,211	509,701
計	1,413,974	861,477

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。				
---	--	--	--	--

病院事業決算状況(令和5年度)

都道府県名

和歌山県

市町村・組合名

高野町

病院名

高野山病院

施設及び業務概況等

法適用区分

病院区分

建物面積

診療科数

許可公営企業

DPC対象病院

特殊診療機能

不採算地区病院

不採算地区中核病院

指定病院の状況

看護配置

経営形態

類似区分

直営

50床未満

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費 医 業 収 益	用 益	全国平均	類似平均
総収益	263				
1 経常収益	263				
(1) 医業収益	-				
(うち修正医業収益)	-				
入院収益	-				
外来収益	-				
診療収入計	-				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	-				
(うち他会計負担金)	-				
(2) 医業外収益	263				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	-				
(うち長期前受金戻入)	-				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	263				
2 経常費用	263				
(1) 医業費用	-				
職員給与費	-	-	58.7	89.5	
材料費	-	-	26.9	13.4	
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5	
減価償却費	-	-	8.5	14.0	
経費	-	-	21.5	46.3	
(うち委託料)	-	-	11.5	22.2	
研究研修費	-				
資産減耗費	-				
(2) 医業外費用	263				
(うち支払利息)	263	-	0.9	1.0	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	-			
	純損益	-			
累積欠損金	6,981				
経常収支比率	100.0		96.5	97.3	
医業収支比率	-		86.0	60.9	
修正医業収支比率	-		83.2	56.2	
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	35.0	
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	59.4	
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	35.0	
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	63.3	

備考：

「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

備考：

「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名		すさみ町			
病院名		国保すさみ病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,834㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院				

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	25	22.2	19.3	24.1	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	25	22.2	19.3	24.1	
平均在院日数(一般病床のみ)		22.6	26.3	26.8	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				1,873,204	
1 固定資産				1,725,174	
(1) 有形固定資産				1,724,048	
(2) 無形固定資産				1,126	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				148,030	
(1) 現金及び預金				64,007	
(2) 未収金及び未収収益				78,407	
(3) 貸倒引当金()				675	
(4) 貯蔵品				6,291	
3 繰延資産				-	
負債合計				2,162,108	
1 固定負債				1,778,475	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,397,560	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				380,915	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				74,411	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				14,761	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				25,247	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				34,403	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				309,222	
(1) 長期前受金				508,226	
(2) 長期前受金収益化累計額()				199,004	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-288,904	
1 資本金				389,953	
2 剰余金				-678,857	
(1) 資本剰余金				118,932	
(2) 利益剰余金				-797,789	
負債・資本合計				1,873,204	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				288,904	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	352,104	274,388
資本勘定繰入	8,624	90,900
計	360,728	365,288

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	218.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名		那智勝浦町			
病院名		温泉病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,261㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	120	85.8	81.6	81.2	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	120	85.8	81.6	81.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	18.5	18.5	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				4,709,737	
1 固定資産				3,832,022	
(1) 有形固定資産				3,830,340	
(2) 無形固定資産				1,682	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				877,715	
(1) 現金及び預金				576,489	
(2) 未収金及び未収収益				294,478	
(3) 貸倒引当金()				4,044	
(4) 貯蔵品				9,437	
3 繰延資産				-	
負債合計				4,640,546	
1 固定負債				3,017,195	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				2,632,476	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				384,064	
(6) リース債務				655	
2 流動負債				347,241	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				161,243	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				81,942	
(6) リース債務				1,257	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				102,699	
(9) 前受金及び前受収益				100	
3 繰延収益				1,276,110	
(1) 長期前受金				2,083,995	
(2) 長期前受金収益化累計額()				807,885	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				69,191	
1 資本金				402,854	
2 剰余金				-333,663	
(1) 資本剰余金				155,538	
(2) 利益剰余金				-489,201	
負債・資本合計				4,709,737	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	224,452	248,049
資本勘定繰入	47,613	110,647
計	272,065	358,696

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名		串本町			
病院名		くしもと町立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,917㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	90	64.0	62.8	74.2	
療養	20	99.0	72.1	57.6	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	110	70.9	65.0	69.1	
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	16.5	16.9	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				3,232,037	
1 固定資産				2,843,012	
(1) 有形固定資産				2,833,417	
(2) 無形固定資産				1,795	
(3) 投資その他の資産				7,800	
2 流動資産				389,025	
(1) 現金及び預金				72,572	
(2) 未収金及び未収収益				336,541	
(3) 貸倒引当金()				43,750	
(4) 貯蔵品				23,662	
3 繰延資産				-	
負債合計				2,612,258	
1 固定負債				1,460,381	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,225,992	
(2) その他の企業債				179,127	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				55,262	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				257,455	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				76,023	
(2) その他の企業債				19,893	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				69,142	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				82,049	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				894,422	
(1) 長期前受金				1,688,895	
(2) 長期前受金収益化累計額()				794,473	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				619,779	
1 資本金				627,085	
2 剰余金				-7,306	
(1) 資本剰余金				158,998	
(2) 利益剰余金				-166,304	
負債・資本合計				3,232,037	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	199,130	336,103
資本勘定繰入	111,141	165,399
計	310,271	501,502

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名		国民健康保険野上厚生病院組合			
病院名		国保野上厚生総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,938㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救へ		
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	99	90.1	76.1	58.6	
療養	-	-	43.6	84.9	
結核	-	-	-	-	
精神	100	85.8	86.6	86.6	
感染症	-	-	-	-	
計	199	87.9	75.4	75.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		25.0	18.4	13.3	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				5,072,882	
1 固定資産				4,086,488	
(1) 有形固定資産				3,990,387	
(2) 無形固定資産				146	
(3) 投資その他の資産				95,955	
2 流動資産				986,394	
(1) 現金及び預金				549,560	
(2) 未収金及び未収収益				419,776	
(3) 貸倒引当金()				401	
(4) 貯蔵品				12,957	
3 繰延資産				-	
負債合計				3,587,859	
1 固定負債				2,506,458	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				2,306,863	
(2) その他の企業債				131,348	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				68,247	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				697,754	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				339,437	
(2) その他の企業債				12,438	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				138,970	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				189,928	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				383,647	
(1) 長期前受金				711,488	
(2) 長期前受金収益化累計額()				327,841	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				1,485,023	
1 資本金				3,438,129	
2 剰余金				-1,953,106	
(1) 資本剰余金				-	
(2) 利益剰余金				-1,953,106	
負債・資本合計				5,072,882	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	724,391	724,391
資本勘定繰入	104,660	104,660
計	829,051	829,051

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	83.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	3,291,997				
1 経常収益	3,291,997				
(1) 医業収益	2,477,505				
(うち修正医業収益)	2,344,070				
入院収益	1,770,497				
外来収益	471,483				
診療収入計	2,241,980				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	235,525				
(うち他会計負担金)	133,435				
(2) 医業外収益	814,492				
(うち国・都道府県補助金)	54,396				
(うち他会計補助・負担金)	590,956				
(うち長期前受金戻入)	38,992				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	3,103,224				
2 経常費用	3,103,224				
(1) 医業費用	2,749,759				
職員給与費	1,682,069	67.9	58.7	67.7	
材料費	220,794	8.9	26.9	18.3	
(うち薬品費)	134,905	5.4	14.8	8.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	82,124	3.3	11.7	9.1	
減価償却費	241,617	9.8	8.5	10.3	
経費	598,123	24.1	21.5	29.4	
(うち委託料)	342,096	13.8	11.5	13.6	
研究研修費	3,092				
資産減耗費	4,064				
(2) 医業外費用	353,465				
(うち支払利息)	42,670	1.7	0.9	1.1	
(3) 特別損失	-				
損益	188,773				
純損益	188,773				
累積欠損金	2,064,609				
経常収支比率	106.1		96.5	95.4	
医業収支比率	90.1		86.0	79.1	
修正医業収支比率	85.2		83.2	74.9	
他会計繰入金対経常収益比率	22.0		11.5	17.0	
他会計繰入金対医業収益比率	29.2		13.7	21.8	
他会計繰入金対総収益比率	22.0		11.5	17.1	
実質収益対経常費用比率	82.7		85.4	79.2	

備考:

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名		公立那賀病院経営事務組合			
病院名		公立那賀病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,708㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地区医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	300	70.9	70.1	70.4	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	4	-	-	-	
計	304	70.0	69.2	69.4	
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	14.6	12.7	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				12,412,292	
1 固定資産				7,365,056	
(1) 有形固定資産				7,347,776	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				17,280	
2 流動資産				5,047,236	
(1) 現金及び預金				3,830,611	
(2) 未収金及び未収収益				1,106,309	
(3) 貸倒引当金()				9,198	
(4) 貯蔵品				119,514	
3 繰延資産				-	
負債合計				5,919,596	
1 固定負債				2,771,377	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				2,771,377	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				1,535,275	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				863,453	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				211,731	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				447,030	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,612,944	
(1) 長期前受金				3,872,041	
(2) 長期前受金収益化累計額()				2,259,097	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				6,492,696	
1 資本金				7,239,169	
2 剰余金				-746,473	
(1) 資本剰余金				270,978	
(2) 利益剰余金				-1,017,451	
負債・資本合計				12,412,292	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	772,733	490,574
資本勘定繰入	525,626	516,939
計	1,298,359	1,007,513

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名		御坊市外五ヶ町病院経営事務組合			
病院名		ひだか病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	27,072㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感へ災		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	263	68.0	75.5	78.7	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	100	46.8	52.5	55.8	
感染症	4	11.5	83.8	54.2	
計	367	61.6	69.3	72.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	15.5	14.9	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				9,698,304	
1 固定資産				7,100,666	
(1) 有形固定資産				6,857,160	
(2) 無形固定資産				477	
(3) 投資その他の資産				243,029	
2 流動資産				2,597,638	
(1) 現金及び預金				1,684,884	
(2) 未収金及び未収収益				863,061	
(3) 貸倒引当金()				1,377	
(4) 貯蔵品				50,770	
3 繰延資産				-	
負債合計				6,684,043	
1 固定負債				3,838,869	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				3,838,869	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				1,319,233	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				526,446	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				292,351	
(6) リース債務				8,653	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				466,583	
(9) 前受金及び前受収益				11,100	
3 繰延収益				1,525,941	
(1) 長期前受金				2,890,926	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,364,985	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				3,014,261	
1 資本金				7,407,542	
2 剰余金				-4,393,281	
(1) 資本剰余金				884,265	
(2) 利益剰余金				-5,277,546	
負債・資本合計				9,698,304	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	739,730	761,975
資本勘定繰入	275,032	388,325
計	1,014,762	1,150,300

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	101.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名		公立紀南病院組合			
病院名		紀南病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	41,959㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	Ⅰ…ICU・CCU	末…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	352	72.5	74.4	70.6	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	4	8.4	54.0	34.8	
計	356	71.8	74.2	70.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	11.7	12.1	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				16,338,911	
1 固定資産				10,215,616	
(1) 有形固定資産				10,119,956	
(2) 無形固定資産				6,375	
(3) 投資その他の資産				89,285	
2 流動資産				6,123,295	
(1) 現金及び預金				4,278,042	
(2) 未収金及び未収収益				1,762,389	
(3) 貸倒引当金()				7,309	
(4) 貯蔵品				90,173	
3 繰延資産				-	
負債合計				8,086,084	
1 固定負債				3,955,519	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				3,913,519	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				42,000	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				2,346,151	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				800,201	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				558,944	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				939,671	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,784,414	
(1) 長期前受金				6,649,009	
(2) 長期前受金収益化累計額()				4,864,595	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				8,252,827	
1 資本金				3,218,746	
2 剰余金				5,034,081	
(1) 資本剰余金				377,170	
(2) 利益剰余金				4,656,911	
負債・資本合計				16,338,911	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	402,898	440,769
資本勘定繰入	453,488	521,644
計	856,386	962,413

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名		公立紀南病院組合			
病院名		紀南こころの医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,421㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	-	-	-	-	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	198	46.8	46.8	47.6	
感染症	-	-	-	-	
計	198	46.8	46.8	47.6	
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-	

貸借対照表		(千円)
区分	決算額	
資産合計	16,338,911	
1 固定資産	10,215,616	
(1) 有形固定資産	10,119,956	
(2) 無形固定資産	6,375	
(3) 投資その他の資産	89,285	
2 流動資産	6,123,295	
(1) 現金及び預金	4,278,042	
(2) 未収金及び未収収益	1,762,389	
(3) 貸倒引当金()	7,309	
(4) 貯蔵品	90,173	
3 繰延資産	-	
負債合計	8,086,084	
1 固定負債	3,955,519	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,913,519	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	42,000	
(6) リース債務	-	
2 流動負債	2,346,151	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	800,201	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	558,944	
(6) リース債務	-	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	939,671	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	1,784,414	
(1) 長期前受金	6,649,009	
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,864,595	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-	
資本合計	8,252,827	
1 資本金	3,218,746	
2 剰余金	5,034,081	
(1) 資本剰余金	377,170	
(2) 利益剰余金	4,656,911	
負債・資本合計	16,338,911	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額()	-	
資本不足額(繰延収益控除後)()	-	
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	387,117	387,117
資本勘定繰入	11,469	11,469
計	398,586	398,586

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。					